

# NEWS

# 普天間問題の本質

5月4日、沖縄を訪れた鳩山総理は、抑止力を維持する観点から、県内に基地機能の一部を移設せざるを得ないとして、理解と協力を求めました。マスメディアは総選挙中の総理の発言をとらえて公約違反かどうかという点に焦点を当てていますが、問題の本質はどこにあるのでしょうか。

## ◆「抑止力」

鳩山総理は「海外という話もなかったわけではないが、日米同盟関係を考えたとき、抑止力という観点から難しいという思いになった。」と述べました。「抑止力」とは具体的には米軍が存在することにより他国の攻撃を抑えるという考え方です。ご存知のとおり日本は米国との間で安保条約を締結し、米軍による日本防衛の義務を定めています。平成8年の「日米安保共同宣言」では「米国の抑止力は引き続き日本の安全保障の拠り所である」としています。つまり、日本の防衛は米軍の存在が大前提となっているのです。

## ◆特異な関係

米軍に守ってもらうために日本は毎年多額の予算を在日米軍のために計上しています。防衛省の本年度在日米軍関係経費は約3600億円に上り、この中には基地の光熱水料や基地従業員の給料など、いわゆる「思いやり予算」が含まれます。このほか海兵隊の一部グアム移転経費など米軍再編関係経費は約900億円に上ります。ここまでの米軍に対する厚遇は他国でも類を見ません。

2004年の米国防省資料によると日本の駐留米軍経費負担率は74.5%と群を抜いており、韓国の40.0%を大きく上回っています。普天間問題を考えるに当たっては、このように世界的にも特異な日米の同盟関係を踏まえる必要があります。

## ◆沖縄に海兵隊は必要か

沖縄に海兵隊、つまり陸上兵力を置く必要性については、有識者や防衛に携わる実務者の間でも見解が分かれています。必要性を説く立場からは海兵隊が撤退した場合の抑止力の低下が指摘されます。その論拠としては1992年にフィリピンから米軍が撤退した後に、それまでフィリピンの実質的な支配圏にあった南沙諸島に中国が軍事施設を建設し実質支配に至ったことを挙げています。これに対して、必ずしも必要ないとの立場からは、海兵隊が撤退したとしても海軍と空軍は残ること、現代の戦争というものを考えたときに沖縄に陸上兵力を置くことに対する懐疑的な見方が示されています。

自分の国は自分で守るのが基本です。しかし、今現在、日本が独力で自らを守るだけの力を持ち合わせていないのも事実です。そのために日米安保体制が存在しますが、世界的にも特異な関係をこのまま維持していくのか。普天間問題を本質的に解決するには、我が国の防衛のあり方そのものを真剣に考える必要があります。(了)

[www.mabuti.net](http://www.mabuti.net)

まぶちの「不易塾日記」好評連載中



## まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年間寄付金(個人献金)によって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所  
0742 (40) 5531

# あなたも民主党に参加しませんか？

## 次の時代を共に創る〈党员・サポーター〉を募集しています

### ★党员・サポーターとは

民主党党費 : 年間6,000円  
サポーター会費: 年間2,000円

- 民主党を応援したい18歳以上の方、選挙区外でもOKです。
- 資格期間は、お申し込み手続きが完了した日から1年間です。
- 党代表選挙に投票ができます。
- 申込手続きをした総支部の所属になります。

日頃は、まぶちすみおへのご支援、ご協力誠にありがとうございます。

現在、民主党の活動を支え、ともに行動して頂ける党员・サポーターを募集しています。なにとぞ奈良県第1区総支部にご登録頂き、まぶちすみおをご支援頂けますようよろしくお願い致します。

申込、詳細につきましては、まぶちすみお後援会事務所(民主党奈良県第1区総支部)までお気軽にご連絡ください。

Tel 0742 (40) 5531

## スタッフ日記

### 華の「ゆとり教育」世代

皆さん、ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか？今年のゴールデンウィークは雨も降らず真夏日のような暑さでしたので体調を悪くされた方もいるのではないのでしょうか？僕は、日本屈指の大イベントが行われている平城旧跡へ遊びに行きました。観光客が蟻のように多く賑わっていたので、約1300年ぶりに平城旧跡にあんなに人が集まったのではと推測しています。

ところで、今年ついに、「ゆとり教育」世代の1期生が社会に羽ばたきました！何を隠そう、僕もこの「ゆとり教育」1期生なのです。（社会の荒波に揉まれず、まだ学生生活を謳歌していますが・・・）この「ゆとり」にドップリ浸った新入社員のことをサラリーマンとゆとりを掛け合わせ「ユトリーマン」と呼ぶそうです。先日もテレビの放送で、

このユトリーマンの新人研修が特集されていたのですが、それが地獄絵のように恐ろしかった。先輩たちが声を荒げながら厳しく躡し教育する。研修を受けているユトリーマンは今にも泣きそうで、僕は同じ世代の人間として観てられませんでした。よくメディアや社会からは、今の若者はゆとり教育のせいで、学力低下、甘ったれた奴が多いと言われ、ゆとり世代をあたかも失敗作のように言う風潮があります。もう既に、ゆとり教育の見直しまでもが行われています。

しかしまだゆとり教育を受けた世代の1期生が社会に出ただけです。ほとんどのゆとり教育の若者はまだ学生であり社会には出てはいません。皆さん、もっと長い目で僕たちゆとり世代を見守って下さい。きっと10年、20年後には、華の「ゆとり教育」世代と呼ばれる日を目指し。（ユウ君）

## 週間活動報告

- 1 土 大臣米国出張中在京当番
- 2 日 完全休養
- 3 月 大臣米国出張中在京当番
- 4 火 完全休養
- 5 水 国会事務所インターンシップ卒業生面談、朝日政治部懇談会
- 6 木 決裁（道路局高速道路課）、奈良県連地方議員団表敬訪問
- 7 金 レク（官房総務課、総合海洋政策本部、土地・水資源局土地政策課、総合政策局不動産業課）、奈良地方議員団表敬訪問、時事通信田崎史郎解説委員長

衆議院議員 **馬淵澄夫**

まぶちへのご意見は、e-mailで：  
**office@mabuti.net**

国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1  
衆議院 第1 議員会館 437号室  
TEL 03(3508)7137 FAX 03(3506)3572

奈良事務所 まぶちすみお後援会（まぶち会）  
〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F  
TEL 0742(40)5531 FAX 0742(40)5532